

<機械・農作業の共同化に取り組む事例>

## ○共同取組活動で草地の生産性向上を図る

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>ひろおくんたいきちょう</small> 広尾郡大樹町 <small>せいか</small> 生花			
協定面積 767.4ha	田	畑	草地(100%) 牧草	採草放牧地
交付金額 1,151万円	個人配分			30%
	共同取組活動 (70%)	集落管理体制経費、役員報酬、事務委託費 農地保全管理 環境整備、廃プラ回収 防除用機械		4% 46% 11% 9%
協定参加者	農業者 8人、農業生産組織 1組織、農業生産法人 1法人			開始：平成12年度
人農地プランの作成状況	作成していない（作成中）			

### 2. 取組に至る経緯

当地区は明治19年の依田勉三の入植後に開墾が本格化し、その後は30戸を超える戸数となったが、高齢化等により減少し、現在では個人農家8戸と2組織が営農をしている。

農地は海岸沿いの低湿地が多く、必ずしも土地条件には恵まれた地域ではないが、中山間地域等直接支払制度への取組において農地の維持管理を図り、健全経営を目指している。

### 3. 取組の内容

作付けは全地が牧草となっているが、近年、土壌pHの低下が見られるため、機械を共同利用して土壌改良材を投入し、pHの矯正と適正な肥料の施用を図っている。

また、草地の雑草対策として共同利用のスプレイヤーを用いて防除を行い、生産性の向上に努めている。

また、年数回に分けて、河川、水路、農道の雑木や草刈り等を実施し、環境整備を行っている。

このほか、農業用廃プラスチック処理については、春と秋の2回、回収を行い、適正な処分をしている。



【ライムケーキの散布】



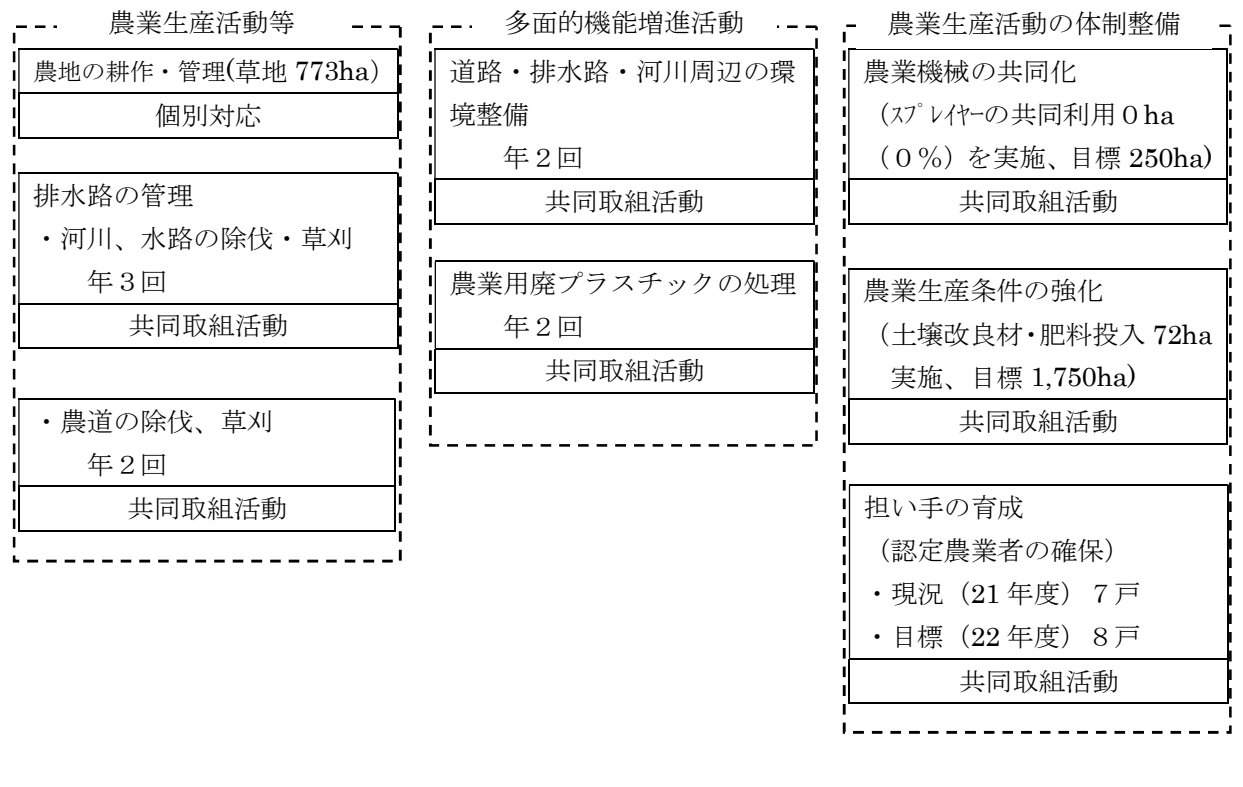
【排水路周辺の雑木の除伐】

**[集落の将来像]**

- 耕作放棄地の発生を防止し多面的機能の確保を図り、適正な農業生産活動等が維持され経済活動や生活環境の改善を実施し、生産性、収益性の向上と担い手の育成、地域の活性化を促進する。

**[将来像を実現するための活動目標]**

- 道路・排水路・河川周辺の小径木の排除の継続と農道の草刈りの実施。
- 環境に配慮した農業用廃プラスチックの一元回収処理の推進。
- 草地の土壌分析を行い、土壌改良材の投入でpH矯正を図り、適正な施肥を行うことによる草地の維持管理と反収の向上を図る。
- 共同機械の導入で草地の雑草防除を行うことにより、草地の生産性と収益性の向上を図る。
- 認定農業者の育成・確保を図る。



**4. 今後の課題等**

今後は経営主の高齢化が進む中で、共同取組活動の重要性を後継者に伝えて活動を継承していくことが重要である。

また、今後も規模拡大が進む中で粗飼料の増産とコスト削減を図るため、収量の向上と品質向上が必要となっている。

**[第2期対策の主な成果]**

- 農業機械の共同化により、草地の雑草防除を行うことで生産性の向上が図られ、併せて、経費の低減が図られた。
- 土壌改良材を投入し草地のpH矯正を図ることにより、草地の維持管理を行い、反収の向上が図られた。
- 農道・排水路・河川の除伐、草刈 (年2回)
- 農業用廃棄物適正処理 (年2回 51.15t)